

令和5年生駒市教育委員会第6回定例会会議録

1 日 時 令和5年6月26日(月) 午前10時00分～午前10時56分

2 場 所 生駒市コミュニティセンター 402・403会議室

3 審査事項

- (1) 報告第7号 臨時代理につき承認を求めることについて(生駒市立学校における医療的ケアガイドラインの策定について)
- (2) 報告第8号 令和5年生駒市議会第2回(5月)臨時会提出議案の結果について
- (3) 議案第23号 令和5年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	神 澤 創
委員	レイノルズあい	委 員	伊 藤 智 子
委員	古 島 尚 弥	委 員	中 川 義 三
委員	吉 尾 典 子		

6 事務局職員出席者

教育こども部長	鎌 田 明 年	生涯学習部長	八 重 史 子
教育こども部次長	松 田 悟	教育総務課長	山 本 英 樹
教育総務課課長	松 本 芳 樹	教育指導課長	花 山 浩 一
幼保こども園課長	大 畑 勝 士	幼保こども園課指導主事	喜 多 美 枝 子
こども総務課長	武 元 一 真	子育て支援総合センター所長	角 井 智 穂
生涯学習課長	清 水 紀 子	図書館長	西 野 貴 子
図書館課課長	錦 好 見	スポーツ振興課長	西 政 仁
教育総務課課長補佐	桐 坂 昇 司	教育政策室長	日 高 興 人
幼保こども園課課長補佐	小 林 奈 津 子	こどもサポートセンター所長	若 狭 美 登 里
生涯学習課課長補佐	井 川 啓 一 郎	図書館南分館長	谷 江 真 美 子
生駒駅前図書室長	入 井 知 子	スポーツ振興課課長補佐	大 畑 由 紀
教育政策室主幹	三 室 哲 哉	教育総務課(書記)	佐 竹 裕 介
教育総務課(書記)	吉 川 優 香		

7 傍聴者 0名

午前10時00分 開会

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

・いじめ防止月間における学校等での取組について、花山教育指導課長から説明
(質疑)

飯島委員：基本対面での開催となっているが、オンラインなら時間的に参加できるという先生もいると思う。今後は可能な限り、オンラインでも受講可能なようにしてほしい。

原井教育長：オンデマンド配信等を検討したい。

○日程第3 報告第7号 臨時代理につき承認を求めることについて（生駒市立学校における医療的ケアガイドラインの策定について）

・臨時代理につき承認を求めることについて（生駒市立学校における医療的ケアガイドラインの策定について）、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p1、別冊1>

(質疑)

吉尾委員：初めての取り組みということであるが、運用しながら様子を見て中身の改正をしていくものと考えていいか。

山本課長：県のガイドラインを参考にしたり、現場に相談しながら作成した。今後運用しながら変更すべき部分があれば改正も考えていく。

レイルズ委員：誰1人取り残さない学びの場を提供するという、生駒市が掲げる教育目標に沿っていて、素晴らしい取組だと思う。ただ、1つ参考までに質問したい。こういったケアを実証していくには、各学校現場で設備面や人の配置が必要になるかと思う。引っ越し等で突然そのような児童・生徒が現れた場合、すぐに対応できるものか。

山本課長：就学前から分かっている子どもについては、事前に準備ができると想定している。引っ越しや事故、病気等で突然の場合は保護者と学校と教育委員会事務局で十分に連携を取り、可能なところから進めていくようにしたい。特に設備面は時間と費用が掛かるので迅速な対応が難しい。代替案を考える等ではまず対応できるところから対応していきたい。保護者の方のご意見や子どもの様子を見ながら進めたい。

飯島委員：奈良県内の他の市町村や他の都道府県でトラブルが生じた事例はあるか。

山本課長：まだガイドラインを持っていない市町村が多い。実施している市町村と情報の共有はしているが、特に大きなトラブルは聞いていない。

飯島委員：では、生駒市で初めてのケースが出る可能性もある。難しいことではあるが、教職員の負担にならないことと、子どもたちへの個々の対応を両立していく必要がある。事例については引き続き情報交換を十分にさせていただき、万全を期して対応していただくようお願いしたい。

鍬田部長：保護者の思いの尊重と教職員の負担軽減を両立するのは難しい。常に保護者や先生方と対話をしてバランスを考えていきたい。

伊藤委員：国や県からの制度や支援について、工事や人材に対する費用の補助はあるのか。

山本課長：看護職員については、国・県からの補助がある。しかし、工事については、400万円以上の工事にしか補助が出ないため、エレベーターの設置等、大規模な工事に対する補助はあるが、スロープの設置等の小規模の工事では市の負担となる。

伊藤委員：様々な制度をうまく活用してほしい。

中川委員：細かいところまで目を配っていただきありがたい。今後とも手厚い対応をお願いしたい。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第4 報告第8号 令和5年生駒市議会第2回（5月）臨時会提出議案の結果について

・令和5年生駒市議会第2回（5月）臨時会提出議案の結果について、大畑幼保こども園課長、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p2>

（質疑）なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第5 議案第23号 令和5年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

・令和5年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について、鍬田教育こども部長から説明

<参照：議案書p3、別冊2>

（質疑）

伊藤委員：多くの事業を行っていただき、内容の精度も増して年々分かりやすくなっている。12ページの待機児童については、旧カウント方式まで記載いただき分かりやすくなった。次に質問とお願いがある。1つ目は、13ページの学童について、待機児童はいるのかという点。2つ目は、20ページ

の放課後子ども教室について、参加人数の記載があるが登録児童数も記載いただきたい。

武元 課長：学童の待機児童については0人です。

花山 課長：放課後子ども教室について、登録者数も記載するよう修正する。

古島 委員：S評価がないが、例年このような評価か。ICTを活用した取組については、経産省のICT教育アワードを受賞しているほど、特に生駒市はかなり進んでいると感じている。また、講師不足対策についてもマッチングが成立しているし、教育フォーラムも斬新な取組である。これらも昨年度の中では大きな取組だったのではないか。良い取り組みをされているものは積極的にS評価を付けても良いのではないかと感じる。

日高 室長：教育フォーラムやアワードの受賞、講師不足対策は教育政策室の取組である。事務局案としては控えめに評価している部分もあるかもしれない。委員さんからのご意見によっては、評価の変更をしたい。

古島 委員：個人的にはSでも良いと思う。

原井教育長：いただいたご意見を参考に評価の再検討をしたい。

飯島 委員：過年度の点検評価は文書で全て記載されていて見づらかった。4段階評価になったり、目次がついたり、年々良くなっている。先ほど古島委員からご意見あったが、自己評価としてSと思えば遠慮なくSにして良いと思う。評価の一覧を見た時にA評価が多いが、その中にもバリエーションがあるのではないかと思う。また、A評価が並んでいるとB評価が目につくが、B評価である理由が記されているので分かりやすい。ただ、48ページの市史編さん収集資料活用事業のみ、B評価である理由の記載がない。分かるように記載していただきたい。また、次回の教育大綱を作成する際は、この点検評価を見据えて、評価基準等も作成していけたら良いと思う。

錦 課長：市史編さん収集資料活用事業をB評価とした理由について、昨年度は「アーカイブに必要な基礎資料を集積した」という作業までしかできておらず、この事業のメインであるアーカイブ自体のフォーマットや業者との協議はできていない。直接アーカイブ作成に伴っての活動ではないのでB評価に控えたという経緯である。

原井教育長：その内容が分かるような記載に修正してほしい。

吉尾 委員：事業の結果ではなく、結果までの経過も評価してほしいと思う。評価も大切だが、課題を踏まえた今後の活動方針が非常に重要だと思う。

中川 委員：手ごたえのあった事業については、1割程度くらいはS評価を付けていただいて良いと思う。せっかく取り組んでいただいているので、生駒市として誇れるものだと思う。

イルズ 委員：具体的な数字を入れていただく等、工夫していただき年々分かりやすいものになってきている。今後さらに見せ方等で工夫できるところはまだまだあると思うので、次回新しい大綱を作成する際はより良いものに一緒に作

り上げていきたい。また、外国語教育について、小学校についての内容が多く記載されているが、中学校の授業を難しいと感じている子どもが多いように思う。中学生に対する外国語教育の事業もお願いしたい。次のアクションプランに繋げてほしい。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第6 その他

- ・令和5年7月行事予定について、山本教育総務課長、清水生涯学習課長から説明（質疑）

伊藤委員：図書館リニューアルワークショップについて、詳細を教えてください。

西野館長：このワークショップは3回行っている。1回目は図書館内を実際に歩き、気になる点に付箋を貼り、なぜそこが気になったのかみんなで話し合うという活動である。2回目はコラージュを作る活動である。高齢者や子どもに関わる人等立場ごとに班分けし、様々な雑誌から雰囲気の良いというものを集めて理想の図書館を作ってもらった。それを専門の先生や建築関係の方たちに見ていただいた。それを3回目に持ち込み、市民の方が求める図書館のコンセプトを作成していくという活動である。

○閉会宣告

午前10時56分 閉会